

Press Release

K 神戸ファッション美術館  
KOBE FASHION MUSEUM

# こどもと ファッション

小さな人たちへのまなざし



女児用ワンピース・ドレス  
1730-1755年頃/藤田真理子氏蔵

*Fashion for Children*  
Changing views on childhood

2016.4.23(土) ▶ 6.5(日)

## 子ども服を手がかりに「子ども」について考える。

子どもたちが着ている服は、その時代、その社会の子どもをめぐる意識や価値観をリアルに反映しています。そこから、子どもの健やかな成長を願う親の思いはもちろんのこと、その社会で共有されている子ども観、さらには性差についての意識をも読み取ることができるでしょう。

子どもは、ヨーロッパにおいて、長い間「不完全な、小さい大人」として扱われてきました。大人と区別される「子ども」という概念は中世から見受けられますが、18世紀半ばになると子どもに特別な関心が向けられるようになります。長い間成人の服のミニチュアのように作られてきた子どもの服は、この時期からその身体的心理的発達に配慮した固有のものとしてデザインされはじめ、やがて19世紀後半には独自のスタイルを生み出しました。

本展では、18世紀後期のヨーロッパの子ども服の誕生とその後の変遷をみていきます。併せて、明治以降の日本の子ども服を基軸に、絵画、版画、写真等子どもをめぐる多彩な表現をたどることにより、時代ごとに変化する子ども観のあり様をあらためて考えていただく機会となるでしょう。

### 1 西洋 子ども服の誕生と変遷



少女用ワンピース・ドレス  
1870年代後半-1880年代初頭  
藤田真理子氏蔵



少女用ワンピース・ドレス  
1850年代末期-1860年代  
藤田真理子氏蔵



男児服(ユサール風)  
1900年頃  
藤田真理子氏蔵



男児用服(ナポレオン1世風)  
1900年頃  
藤田真理子氏蔵



ビエール＝トマ・ルクレール  
『ギャルリー・デ・モード・エ・コスチューム・フランセ』  
1776年  
個人蔵(石山彰氏旧蔵)

### 2 日本 子ども服の洋装化



女児用ワンピース・ドレス  
1922年頃  
田中本家博物館蔵



男児用ベルト付ワンピース・スーツ  
1922年頃  
田中本家博物館蔵



児島虎次郎『登校』  
1906年  
高梁市成羽美術館蔵



オノデラユキ  
古着のポートレート No.52  
1997年  
国立国際美術館蔵

## 関連イベント

## ● 講演会

「ランヴァンの子ども服—母から娘へ」 ※要申込/参加無料

20世紀初頭、ジャンヌ・ランヴァンが娘のために作った子ども服は、ファッションの歴史に新たな一頁を加えることとなりました。母娘が手を取り合うロゴで知られるファッション・ブランド、「ランヴァン」についてお話しいただきます。

日時：5月7日(土) 14:00-15:30 (13:30 開場)

講師：朝倉三枝氏(神戸大学国際文化学専攻准教授)

会場：4Fセミナー室 定員：100名(先着順)

[申込方法] Eメール・FAXのいずれかに「住所・名前(ふりがな)・年齢・性別・電話・参加希望イベント名」を明記の上、お申込みください。  
Eメール：workshop@fashionmuseum.or.jp  
FAX：078-858-0058

## ● ワークショップ

「ファッション・プレートで着せかえを楽しもう！」 ※申込不要/要入館料

日時：5月14日(土)、21日(土) 14:00-17:00(所要時間約20分)

会場：展示室入口

※随時自由参加(参加者多数の場合はお待ちいただくことがあります。)

## ● ギャラリートーク ※申込不要/要入館料

日時：4月29日(金・祝)、5月22日(日) 14:00-(約30分)

解説：当館学芸員

## 同時開催

## ● ベルナル・フォコン作品展



ベルナル・フォコン(Bernard Faucon)

1950年南仏プロヴァンス地方アプト生まれ。ソルボン大学の哲学科を経て、オブジェやマネキン、時には人間の少年も用いて、凝った設定で詩的な世界を生み出す写真家として注目される。

L'Automate 1984 自動人形/神戸ファッション美術館蔵  
© BERNARD FAUCON 2010 by ParisNormandyTokyo Printed in Japan

## ● トヨクラタケル作品展



トヨクラタケル

1978年大阪生まれ。大阪総合デザイン専門学校卒業後、フリーのイラストレーターとして活動。主にフェルトと紙と糸を使ったイラストレーションで、書籍、雑誌、広告の分野で活動中。

「こどもふく」フェルト、糸 2012年

## こどもとファッション

小さな人たちへのまなざし

2016.4.23(土) ▶ 6.5(日)

開館時間：10:00-18:00 (入館は17:30まで)

休館日：月曜日(祝日の場合は翌平日休館)、4月12日(火) - 22日(金)

入館料：一般：500円 小中高65歳以上：250円

主催：神戸ファッション美術館、読売新聞社、美術館連絡協議会

協賛：ライオン、清水建設、大日本印刷、損保ジャパン日本興亜

後援：織研新聞社

展示協力：大阪樟蔭女子大学

## 広報お問い合わせ

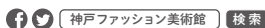
TEL：078-858-0050

FAX：078-858-0058

Eメール：press@fashionmuseum.or.jp

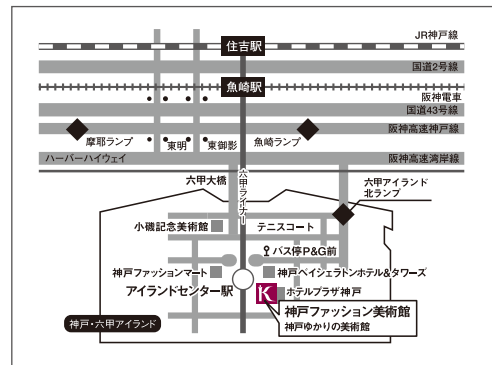
〒658-0032 神戸市東灘区向洋町中2-9-1

http://www.fashionmuseum.or.jp



神戸ファッション美術館

検索



駐車場は、美術館隣接のタイムズ神戸ファッションプラザをご利用下さい(有料)

[電車ご利用の場合]

JR「住吉駅」・阪神「魚崎駅」のりかえ六甲ライナー「アイランドセンター駅」下車南東すぐ

[お車ご利用の場合]

阪神高速神戸線「摩耶」・「魚崎」ランプから約10分

阪神高速湾岸線「六甲アイランド北」ランプから約2分

三宮からハーバーハイウェイ経由約15分